

平成28年度 学校法人三幸学園 仙台医療秘書福祉専門学校

自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 鎌田 克也

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 高岸 学

1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和 60 年の開校以来『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この基本理念は、教職員に対しては、教職員手帳、「三幸学園の原点 あきらめない教育」に明記し配布しているほか、全教職員が一同に集う「ビジョンミーティング」、「サマーセミナー」においては、学園長及び理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、各姉妹校で行われる年3回の全体会議にて共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、校長や教職員からの言葉として示すとともに、本校独自のカリキュラム「未来デザインプログラム」の授業で使用する「夢のスケッチブック」に記載し周知を図っている。このほか、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学内外の周知に努めている。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

前年度重点施策の振り返り

教育理念「技能と心の調和」の質の向上 ～人間性を高める教育の実践～

三幸学園医療秘書福祉専門学校では「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を育成することを全国で掲げ、単に知識や技術を教育するに留まらず、人間性を高める教育を実践した。とくに「あいさつ・礼儀」にはこだわった人材育成を行い、就職先より一定の評価をいただく。

学校関係者評価委員会コメント

着実な教育を実践しており、高く評価できる。特に人間性という意味では、仙台医療秘書福祉専門学校の生徒のカラーは明るく・元気・素直であることから、業界の中でも高く評価されている。今回、分野の生徒数が宮城県 NO1 になったということで、少子化の中でも生徒数をしっかりと確保しているため、より業界と連携した教育を行うことで、質の高い人材を沢山輩出してほしい。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

- ・各学科に対応する業界のニーズを把握する

② 今後の改善方策

- ・医療機関や、施設訪問を積極的に実施し業界との関係性を深めていくことで、求められる人物像を正確に把握する

③ 特記事項

- ・業界のニーズをより深く理解し、教育に活かしていくことを目的に、学科ごとに教育課程編成委員会を実施し、教育課程の共同編成やシラバスの共同開発を行い、業界の即戦力となれる人材育成を積極的に実践している。
- ・教職員が施設訪問を実施し、業界が求める人物像や学校教育に必要な課題をヒアリングしている。

【学校関係者評価委員コメント】

- ・理念・目的・育成像は明確に定められており、また教員全体・生徒・保護者にまでしっかりと浸透している。

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・全教員に対して、運営方針の浸透が十分ではなかった。

② 今後の改善方策

- ・教員研修や普段の学校教育を通じて、学校の方針や方向性を提示していく機会を増やしていく。

③ 特記事項

・年3回定期的に全教職員に向けての会議を実施、運営方針の浸透と共に、情報共有を積極的に行なっている。また、全教職員対象にビジョンミーティングも実施し、学園のミッション・ビジョンの浸透にも力を入れている。学則に定めた学校の目的、及びそれを達成するための教育目標に基づき、校長の指示の下、副校長は理事会の承認を得て、学校の年度毎の「事業計画(経営計画)」を策定している。「事業計画(経営計画)」には予算等を明示している。各学科、校務分掌組織は「事業計画(経営計画)」により年間の予算等の運営計画を策定して、業務を遂行する。

【学校関係者評価委員コメント】

- ・30年以上の歴史のある学校である為、目的に沿った学校運営ができている。
- ・コンプライアンスの取り組みがしっかりと行われており、学校の安全・安心が徹底できている。

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・各分野の業界からの意見を取り入れたカリキュラムの編成

② 今後の改善方策

- ・カリキュラム編成委員会の設置により学科ごとの実践的なカリキュラムの策定を目指す
- ・学生による授業アンケートを活用・参考にしながら、各教員の教授力把握と改善に努めていく
- ・業界の情報を取りに行くために企業との情報交換の強化を目指す

③ 特記事項

- ・業界の理解を高めるための専門研修や、教育力向上のための教務研修を実施し、課題への改善に努めた。
- ・業界のニーズを把握する為に施設訪問を強化し、直接現場の声を聴くことで学校の課題を明確にする働きかけを行った。

【学校関係者評価委員コメント】

- ・教育でも「未来デザインプログラム」など、質の高い人間教育プログラムを行っており評価できる。
- ・業界も常に求める人物像が変化しているため、さらに企業と連携した教育を実践してほしい。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・出席率の向上
- ・退学率の改善

② 今後の改善方策

- ・出席率向上のために教員間連携や保護者との連携を図り、退学率改善へ努める
- ・卒業生同窓会ホームページを活用し、卒業生の動向を把握し、繋がる場として活用していく

③ 特記事項

- ・平成28年度皆精勤 46.1%となっており、昨年度から大きな改善はできなかった。
- ・欠席や遅刻をした生徒に対して、本人への対面指導と保護者への連絡を強化し、状況の改善に努めた。
- ・卒業生訪問を実施し、卒業後の勤務状況の把握や、在学中における課題などをヒアリングし、学校教育に活かしている。
- ・在校生に対し卒業生講話の時間を設け、卒業後の経験を後輩にも伝える機会を設けた。

【学校関係者評価委員コメント】

- ・学校満足度はもう少し向上を目指して欲しい。
- ・卒業後も学校を慕っている職員が沢山いる為、卒業生からの母校への評価は高い。

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・保護者との連携改善
- ・キャリア教育・職業教育の取組に対する認知拡大

② 今後の改善方策

- ・保護者との連携するために、期毎に成績表、学校予定などを郵送し学校理解を深めていく
- ・キャリア教育・職業教育の取組を入学相談室と連携し高校へ認知させていく

③ 特記事項

- ・卒業生同窓会サイトを活用し、社会人教育支援を実施している。
- ・課外活動やボランティアに積極的に実施し、実践力を高める取り組みを各学科行った。

【学校関係者評価委員コメント】

- ・卒業生のサポートをより強化して欲しい。卒業生も母校の先生からのアドバイスやフォローを求めている。

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災、安全対策に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・防災対策の向上へ向けた取り組みを、継続・改善していく

② 今後の改善方策

- ・地域との情報共有・情報交換を進める事で、地域一帯となった防災整備を目指す

③ 特記事項

- ・全教職員向けに一次救命処置(心肺蘇生・AED 取扱い)の確認と、大地震マニュアルをもとに防災時対応マニュアルの講習を実施した。
- ・プロジェクターの設置教室を増やし、授業環境の充実を図っている。映像などを活用し、より理解しやすい環境づくりに努めている。

【学校関係者評価委員コメント】

- ・防災訓練は実施している事は評価できるが、頻度・内容は検討する必要がある。

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・学科による入学者数の格差
- ・職業実践専門課程の理解や周知

② 今後の改善方策

- ・本校の教育成果を更にわかりやすく伝えていく為に、ホームページ等を活用していく
- ・学校をより理解して頂くために、高校訪問を実施する
- ・更に教育の成果を高め、「選ばれる学校」へ向けて教育の改善を行う

③ 特記事項

- ・前年よりも生徒募集の状況は良くなった。18歳人口の減少といった社会問題の煽りを受けながらも、教育の質や学校の独自性を伝えられたことが成功要因となっている。
- ・学校の雰囲気非常によく、在校生スタッフが学校の魅力を自身の言葉で伝えていることが入学希望者に伝わっている。

【学校関係者評価委員コメント】

- ・ホームページが募集活動においてとても重要であり、ホームページがとても工夫されている事が評価できる。

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

【委員コメント】

・特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

- ・自己評価から問題点改善へ精度を高める

② 今後の改善方策

- ・問題点に対しての改善策を具体化し、計画的に実施する

③ 特記事項

- ・自己評価結果を学校 HP にて閲覧できるように対応した。

【学校関係者評価委員コメント】

- ・コンプライアンス研修等、法令遵守の取り組みがされており評価できる。

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

- ・学校施設の活用方法(外部への貸し出し・催し物)

② 今後の改善方策

- ・地域の方が利用できるような講座・イベントの立案、実施
- ・教育訓練の受託などへの実施

③ 特記事項

- ・校内施設に地域の高齢者を招いての交流会や、保育園に訪問して園児向けのイベントなど、地域貢献活動を行った。どの取り組みも生徒が企画立案し、関係団体や施設からも高く評価を頂いている。
- ・委託事業として宮城県立仙台高等技術専門校より離職者等再就職訓練生を11名受け入れている。

【学校関係者評価委員コメント】

- ・新しくボランティア活動や、地域貢献活動などの取り組みが行われており、非常に良い。
- 今後はさらに地域の為の学校として、活動を行ってほしい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

■学校運営について

方針・目標が全体に浸透しており、また運営体制もしっかり行われており、評価できる。

また教職員に対してコンプライアンス教育や、専門力を高める教育なども行っており、教職員育成も着実に行われているところが学校の質を高めている。

■教育について

技能教育については、資格合格率が非常に高く、また実践的教育も行われている。また人間力教育については、「未来デザインプログラム」などの独自カリキュラムなどを入れており、業界の求める人物像を意識した育成ができており高く評価している。今後は業界のニーズも常に変化しているため、業界が求める人物像、資格・スキルを把握した上で、質の高い専門教育を行って欲しい。

■その他

広報活動においては、生徒募集における様々な工夫がされており、分野において宮城県 N01の生徒が集まっていることは非常に良い広報ができています。また財務状況も安定しており、安定した運営ができています。

今後は、避難訓練を頻繁に行うなど、いつでも緊急な対応ができるように準備を整えて欲しい。

全般的には、評価 10 項目において、ほぼ昨年以上の維持・改善ができており、非常に健全な学校運営ができていると思われる。